

令和4年 4月		北文化小劇場 催し物ご案内			
開催日	催事名	開演	終演	問い合わせ先	入場料
10日 (日)	第10回 北区商店街まつり	10:00	未定	北区商店街連合会 934-0982 (FAX 934-0982)	無料 ※コロナ感染予防のため 入場を制限する場合がございます

* 新型コロナウイルス感染拡大防止のため催し物が中止となる場合がございます。開催の有無につきましては、上記問い合わせ先までご連絡ください。ご来場の際は、感染防止対策にご協力をお願いいたします。

* 非公開の催し物や練習でのご利用等のため掲載のない催し物もございます。予めご了承ください。

* 催し物の時間、内容等が変更になる場合がございます。

北文化小劇場 施設利用のご案内

演奏会や舞踊会など幅広い公演にご利用いただけますので、お気軽にお問合せください。



ホール見学&各種相談承ります！

- ◆客席数 297席(椅子席237・桟席60)
- ◆舞 台 間口14.5m 高さ6.0m 奥行8.2m
- ◆楽 屋 2室
- ◆練習室 1室(45㎡)
- ◆駐車場 37台(図書館共用)



楽屋



練習室

ホール競合受付&練習室単独利用受付のご案内

ホールは文化活動でのご利用の場合、1年前からお申し込みが可能です。また、練習室単独でのご利用の場合は、使用する月の2ヶ月前からお申し込みが可能です。

- 受付時間／9:00～20:00（休館日を除く）
- 休 館 日／月曜日（休日の場合はその直後の平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

- * 受付期間については、変更となる場合がございます。ご利用を検討されている方は事前に劇場までご連絡ください。
- * 施設の空き情報は事業団HP <https://www.bunka758.or.jp/> からご覧いただけます。

ホール競合受付		練習室単独利用受付	
利用月	受付期間	利用月	受付開始
2023年 4月分	2022年 4月1日（金）～5日（火）	2022年 6月分	2022年 4月1日（金）～
2023年 5月分	2022年 5月1日（日）～5日（木）	2022年 7月分	2022年 5月1日（日）～
2023年 6月分	2022年 6月1日（水）～5日（日）	2022年 8月分	2022年 6月1日（水）～

 名古屋市文化振興事業団 [北文化小劇場]

お問い合わせ
TEL 052-910-3366 FAX 052-910-3367

アクセス
名古屋市北区志賀町4丁目60-31
地下鉄名城線「黒川」下車4番出口から北へ徒歩12分

お買い物は
北区商店街加盟店で
北区商店街連合会

総合建設業
株式会社 原田工務店
052-901-3210

広告募集中！
掲載料1枠5,000円/年
ご希望の方は北文化小劇場まで
TEL 052-910-3366

北文化小劇場だより 2022年 4月

北文化小劇場 presents

Spring Jazz

【Day1】 AUTOBAHN JAZZ ORCHESTRA Special Live

【Day2】 The Polar Star Jazz Orchestra

たくさんのご来場ありがとうございました！



あらび 白木
0120-758-216

KAWAI
NAGOYA
052-962-3939

清 金虎
酒 052-981-3960

お料理・仕出し・うなぎ
魚 鉄
052-911-1211



長唄・唄方
杵屋六春先生

長唄名曲紹介～Vol. 18 鎌倉時代に思いを馳せて「賤の芋環（おだまき）」

源義経と静御前といえは、日本人なら誰もが知っている悲恋の物語を思い浮かべるだろう。この静御前の伝説を、数々の名曲を生み出した名人、五代目杵屋勘五郎が明治41年（1908）作曲、菊地武徳作詞で舞踊化したもの。「静の小田巻」と表記される場合もあり、同じ曲である。

時は文治元年・壇ノ浦の戦いから7ヶ月後、源義経は源頼朝の命を受けた土佐坊昌俊に襲撃され、兄との関係は修復不可能と悟り、挙兵に踏み切った。後白河院に頼朝追討の発令を求め、従わないなら西国で挙兵すると告げ、院は頼朝追討の院宣を下す。その直後、朝敵にされ怒り狂った頼朝が6万の大軍を京に送ると聞き及んだ後白河院は態度を180度変え、頼朝に求められるまま6日後に義経追討の院宣を下す。西国で再起を図るべく大阪湾に出た義経だったが、平家の呪いと臆される暴風に吹き戻され、元々少なかった家臣達とさらに離れ離れになる。「賤の芋環」は、平家の亡霊で有名な長唄の大曲「船弁慶」の後日談といった形で作られた曲といわれている。

鎌倉時代、京都の白拍子（男装して舞を披露する芸人）だった静御前は、源義経と出会い恋仲になる。実兄・頼朝と不仲になった義経は頼朝から追われる身となり、義経は女人禁制の吉野山（奈良県）に身を隠す前に静御前に別れを告げる。京に戻ろうとした静だったが従者に裏切られ、文治2年3月、鎌倉に送られ、頼朝の前に引き出され、義経の逃亡先を問われるが知らない静には答えようがない。ならばと、源氏の繁栄を祈る舞を鶴岡八幡宮に奉納せよと命じる頼朝（歌詞の中に出てくる『鎌倉殿』は頼朝のこと）。はじめは拒んでいたが、とうとう拒みきれなくなり、しぶしぶ舞う静。しかし静御前が実際には頼朝や源氏繁栄の為ではなく、義経を慕う思いを歌い、強い恋心を舞ったのであった。一同が感動する中、意に反した静御前に頼朝は立腹するが、妻・北条政子が「私が御前の立場であっても、あの様に謡うでしょう」ととりなし、静御前は許され、褒美を賜ったと言われている。

歌詞の中で「吾妻鑑」から引用されている二首の和歌がある。「吉野山 峰の白雪 ふみわけて 入りにし人ぞ恋しき」吉野山で雪を踏み分け、山深く入ってしまったあの人（義経）の足跡さえも今は恋しい。「しづやしづ 賤のをだまき 繰り返し 昔を今に なすよしもがな」（おだまき＝麻糸の玉がくるくる回転すること）「静、静」と呼ばれた昔に戻れたらどんなに良いことだろう。

別れ別れになってしまった義経への恋心は募るばかりの静御前であった。2022年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の時代に起こった悲恋の物語。ドラマにこの曲を重ね合わせていただけたら、また楽しんでいただけることだろう。（参考文献 「吾妻鑑」）



吉野山（奈良県）



静御前

北文化小劇場展示ケースのご紹介

北文化小劇場のロビーには、様々な伝統工芸品を展示している展示ケースがあります。北区内には様々な伝統工芸の工房があり、その伝統を受け継いできた職人さんたちがいらっしやいます。伝統工芸の魅力を少しでも知っていただけるように、北区役所、北図書館、北文化小劇場と入れ替わりで展示が行われています。

現在、展示されているのは、名古屋型友禅です。友禅染めは着物などを染める技法の一つ。江戸時代に京都から加賀に伝わり、その後、江戸や名古屋に広まったそうです。この名古屋型友禅は、型紙を使用して染めを行う、型友禅と言われている染め方です。近くで見るとかなり細かい型を使って染められていることが分かります。職人の渡邊芳治さんが、約20数年前に黒川友禅流しの復活を呼びかけて以来、友禅流しは北区の春の恒例行事となりました。

劇場へ観劇等にお越しの際は、展示ケースをご覧ください、伝統工芸の魅力にふれてみてください。



名古屋型友禅の展示



色鮮やかな模様

快適以上を、世の中へ。

TOENEC

広告募集中！

掲載料1枠50,000円／年
ご希望の方は北文化小劇場まで
TEL 052-910-3366

北区のお店紹介 第54回 ～福寿餅～

4月になって春本番！今月は福寿餅を紹介します。

昭和35年に創業したお店には花見だんごに草餅など春の和菓子が並んでいます。今日は店主の犬飼さんにお話を伺いました。

ー「もちや」の看板が目立ちますね？

「もちや」というのは、大福や草餅、桜餅など餅菓子を主に売る和菓子屋の事で、それに対して上玉まんじゅうなどのおまんじゅう類を売るのが「まんじゅうや」なのだそうです。

「もちや」なので年末にはお餅も販売していますし、11月～4月半ばにはいちご大福も店頭に並びます。

店頭でひときわ目を引くのが、お盆に乗った色とりどりの鬼まんじゅうです。「いろどり鬼まんじゅう」という名称で全部で6種類、温州みかん、カレー味などもあります。さらにこのお盆には鬼まんじゅうと共に「みそカツういろう」が並んでいます。ういろうにみそカツ？ちょっと驚きですね。鬼まんじゅうは色もきれいで珍しいので、TVなどの取材が沢山来たそうですよ。また、おすすめしたいのは「おはぎ」です。お客さんが来店して、注文を受けるとその場で作ります。犬飼さんいわく「おはぎは作り置きすると、きなこがしけったりして風味が落ちる」そうです。味を第一に追及してきた犬飼さんなので「おはぎはその日のうちに食べてください。日持ちをさせようとするとは添加物が増えますし味も落ちます。」とのこと。他のお菓子もなるべく早く頂いた方がいいですね。

ーこちらの和菓子は黒糖系のものが多いですね？

「黒砂糖は沢山使わないとお菓子の色が出ないので黒蜜を使っています。黒蜜も高価なものを使用し、材料にこだわっています。」それも味を一番に考えているからです。確かに「黒ういろう」は黒蜜の風味がします。黒蜜好きの人にお勧めしたい逸品です。

お話を聞いた日はあいにくの雨でしたが、お客さんが次々訪れ、今日のおやつを買い求めている様子でした。実際、おはぎは注文して5～10分で出来上がりました。好きな時に出来たてのおはぎが食べられるのはうれしいですね。



色とりどりの鬼まんじゅう



桜餅と花見だんご



鬼まんじゅうやふかしカステラ

福寿餅
北区辻町4-64-4
地下鉄上飯田駅から徒歩12分
（アピタ名古屋北店から東へ徒歩3分）
TEL 911-1638
営業時間 9:00～18:00
火曜日定休（月曜日不定休）

施設事業レポート

3/4(金)、5(土) 北文化小劇場 presents「Spring Jazz」を開催しました！

ビッグバンドを楽しむ2日間として開催した「Spring Jazz」。多くのお客様にご来場いただくことができました！

Day1の3/4にはプロのビッグバンド、AUTOBAHN JAZZ ORCHESTRA によるスペシャルライブを開催！The Polar Star Jazz Orchestraの音楽監督である、山崎貴大氏がリーダーを務めるビッグバンドです。ジャズでありながらもとても重厚感のあるサウンドでお腹にズンと響くような迫力満点の演奏でした。結成されて約12年になる実力派のバンドでオリジナル曲も豊富です。どの楽器も存在感があり、ソロ演奏も圧巻。終始、ライブハウスにいるような感覚でお客様もノリノリでした。

そして、Day2の3/5にはThe Polar Star Jazz Orchestra（以下、PSJO）による5回目のコンサートを開催しました！PSJOは世代も環境も、職業も違う参加者が集まって結成されたコミュニティバンドです。北区ではおなじみとなっていますが、昨年の演奏会以来、コロナの影響で、お客様の前で演奏する機会が無い状態が続いていました。メンバーは今回のコンサートに向けて一年間練習に励み、難しい曲にも挑戦しました。約一年ぶりではありますが、楽しんで演奏している姿、そして、各楽器のソロでは堂々と演奏する姿が印象的でした。

どちらのバンドも演奏を聴いていただけるお客様がいっぱいやるからこそ、活動が成り立っています。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。これからも応援よろしくお願いします！



演奏の様子

[催物等へご来場されるお客様へのお願い](#)



* 状況によっては公演を中止する場合がございます。最新情報は劇場のfacebookページにてご案内しますので、事前のご確認をお願いいたします。